

# 5 ▶ 4つのゾーン



## 話の素材 (学習資料)

会場を4つのゾーンに分けます (表記してあるカードを置きます。)

はい	どちらかといえば、はい
いいえ	どちらかといえば、いいえ

### 質問例 親子の場合

- A 学校は好きです (好きでした)。
- B 勉強は好きです (好きでした)。
- C 友達と遊ぶのは好きです。
- D スポーツは好きです。
- E 読書は好きです。
- F けんかをした後すぐ仲直りができます。
- G 子どもの話 (家の人の話) をしっかりと聞いています。





## 学習のポイント

近年、親子のコミュニケーションが少ないと危惧されています。子どもたちは、自分の気持ちや考えをうまく表現できなかつたり、感情がコントロールできなかつたりする場合があります。この学習を通して、**子どもの気持ちを受け止めて親子のコミュニケーションを深めたり、自分の意見や考えを伝え、相手のそれらをしっかりと聴くことの大切さ**について考えたりしてみましょう。



## すすめ方【60分】

### 準備物 ゾーン表示

1. 質問者は中央に立ち、子ども、保護者も中央に集まり、質問を聞きます。
2. 自分で答えを考えてゾーンに移動します。このときに、周りの人の動きに左右される場合があるので、自分がどう思うかよく考え、自分の判断で動きましょう。
3. 数人にそのゾーンに行った理由などを聞き、全体で意見交換します。  
(各ゾーンに集まった人々で意見をまとめ、全体に発表してもよいでしょう。)

〈問いかけの例〉

【A～Eの質問】※この中から数個に絞って行ってもいいでしょう。

- ・なぜそれが好き/嫌いなのですか(だったのですか)?
- ・それをするとどのような良いことがありますか?
- ・楽しんでそれをするには、どのような方法があると思いますか?
- ・それをするために、家の人や学校に手伝ってほしいことがありますか?

【Fの質問】

- ・仲直りは難しいですか? 簡単ですか? その理由は?
- ・仲直りをするための良い方法はありますか?
- ・「けんか」は悪いことですか? それはなぜですか?  
※意見の違いや対立自体は悪いことではないが、不必要に相手を傷つけるようなことをしたり言ったりするのは避けたいし、絶交するのはもったいないことを確認する。
- ・けんかをしないため(あるいは前述のような悪いタイプのけんかをしないため)には、どのようにすればよいでしょうか?

【Gの質問】

- ・どんなときにどんな話をしていますか?
- ・なかなかじっくりと話ができないのはなぜでしょう?
- ・お互いにじっくりと話をすると、どのような良いことがあると思いますか?
- ・今よりも(もっと)話ができるようにするには、どうすればよいと思いますか?

4. 次の質問をその場で聞き、またそれぞれのゾーンに移動します。
5. 3、4を何度か繰り返します。
6. 学習をして気がついたことや感想を出し合ひましょう。